

2

話し方はどうかな

単元の確認

全体像の確認

話題の提示

話すときの「速さ」によって、話は聞き取りにくくも、聞き取りやすくもなるということについて、考えてみよう。

● 日本語のいちばん理解しやすい速さについて考える。
↓速さの測定方法・量的な表し方「一分間に何字」

具体例① 野球の中継放送

（職業的に訓練と経験を積んだ、スポーツ・アナウンサーによるもの）
● 日本人が、日本語をしゃべったときの最高の速さ
↓一分間に九百字が限度

具体例② 気象情報

（二百字程度の文章を一分間で読み、速さを練習する）
● いちばん聞きやすい速さ
↓一分間に三百字の速さ（＝基準となる速さ・土台）

話の表情

↓淡々と一分間に三百字の速さで話す「無表情」ではなく、話の内容に合った緩急や強弱などの「話の表情」を豊かにして話す。

魅力的な話し方

← 分かりやすい、聞きやすい、理解しやすい話」ができる。

結論

- 今後、いろいろな場で発言する機会が増える。
- 聞き手によく分かるような話し方を工夫していくことが望ましい。



学習のポイント

・話し方について、筆者の考えを捉える。

全体像の確認問題

1 文章全体の話題をまとめた次の文の□に当てはまる言葉を書きなさい。

- 話をするとき、聞き手が

[]

速さと

は、どのくらいの速さか。

2 話すときの「速さ」を測定して量的に表すために、どのような表し方をしていますか。六字で書きなさい。

[]

3 文章中で、具体例を使って二つの「速さ」を説明しています。それぞれどんな速さか、次の文の□に当てはまる言葉を書きなさい。

- 日本人が日本語をしゃべる

[]

の速さ。

- 話すときの土台となる、

[]

速さ。

4 魅力的な話し方には、何があると筆者は言っていますか。四字で書きなさい。

[]

5 結論において筆者が呼びかけているのは、どういうことですか。次の文の□に当てはまる言葉を書きなさい。

[]

[]

ような話し方を工夫

しているということ。

◆ 漢字・語句の確認 ◆

教科書 p. 14, 21

1 漢字の読み書き——線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。

① 皆みなさんに話はなす。 □ ② 大汗おほあせをかかく。 □ ③ 漢字仮名交かじり文。

④ スポースポーツツの実じ況きょう。 □ ⑤ 野球やきゅうの中継放ちゅうけい送そう。 □ ⑥ ワンアウワンアウトト満まん塁るい。

⑦ ある環かん境きょうのした。 □ ⑧ 空くう気きの乾かん燥そう。 □ ⑨ 火ひの取とり扱あい。

⑩ 交か互ごに現ある。 □ ⑪ 淡たん々たんと話はなす。 □ ⑫ 話はなし方かたの工こう夫ふう。

⑬ 言ごん葉えつをハサはむ。 □ ⑭ 話はなし方かたがオおソそい。 □ ⑮ フふツつウうのこと。

⑯ ゲンコウ用よう紙し。 □ ⑰ 間まをヌぬける。 □ ⑱ ボールがハはねる。

⑲ せみをととる。 □ ⑳ 走者そうしやが滑すべりコこむ。 □ ㉑ ケけツつロろンを言いう。

㉒ モウレモウレツツな勢せいい。 □ ㉓ ユウセイユウセイな高たか気き圧あつ。 □ ㉔ アアタタかい日ひ。

2 語句の意味 次の語句の意味を、に言葉を当てはめて完成させなさい。

① しどろもどろ 話の内容や話し方がひどく 様子。

② 山場 場面。

③ 基準 水準。

④ 猛烈 がはなはだしいこと。

⑤ 優勢 他より こと。

⑥ 起承転結 文章や物事の 。

⑦ 淡々 とした様子。

3 類義語 次の語句の類義語を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 状況

ア 状態 イ 最中 ウ 見物 エ 推移

② 非常に

ア すでに イ まさか ウ とても エ 少し

③ 緩急

ア よくばり イ 傾向 ウ 新旧 エ めりはり

④ 機会

ア 時間 イ チャンス ウ チャレンジ エ 口実

4 対義語 次の語句の対義語を漢字で書きなさい。

① 普通 ↓ 別 ② 内容 ↓ 式

5 短文作成 「言葉を挟む」を使って、短文を作りなさい。